

		4. 命題と証明		○	・命題に応じて、対偶法や背理法を用いて命題を証明することができる。	①③④		
		単元考查 数学 I - 2	○	○		⑤⑥		
		(数学A 場合の数)						
後期中間	第3章 2次関数	第1節 2次関数とグラフ	1. 関数とグラフ 2. 2次関数のグラフ	○		・2次関数のグラフの概形、軸や頂点について理解し、グラフを描くことができる。	①②③	
		第2節 2次関数の値の変化	3. 2次関数の最大・最小 4. 2次関数の決定	○	○	・与えられた条件を関数の式に表すことができる。 ・具体的な事象の最大・最小の問題について、2次関数を用いて表現し、考察することができる。	①②③④	
		第3節 2次方程式と 2次不等式	5. 2次方程式 6. 2次関数のグラフと x軸の位置関係	○	○	○	・2次方程式を、因数分解や解の公式を用いて解くことができる。 ・判別式を用いて、2次関数のグラフとx軸の共有点の個数について考察することができる。	①②③
			7. 2次不等式	○	○		・2次不等式を解くことができる。 ・身近な問題を2次不等式の問題に帰着させ、問題を解決することができる。	①②③
		単元考查 数学 I - 3	○	○			⑤⑥	
		(数学A 確率)						
後期末	第4章 図形と計量	第1節 三角比	1. 三角比 2. 三角比の相互関係 3. 三角比の拡張	○	○	・正弦、余弦、正接の値を求めることができる。 ・図をもとに、三角比の性質について考察することができる。	①②③	
			課題学習		○		・測量などの具体的な事象を三角比の問題として捉えて、考察することができる。	①④
		第2節 三角形への応用	4. 正弦定理 5. 余弦定理 6. 正弦定理と余弦定理 の応用	○	○	○	・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ・正弦定理や余弦定理を用いるために必要な条件を理解し、問題を考察することができる。	①②③
			7. 三角形の面積 8. 空間図形への応用	○	○		・三角形の面積を求める方法を理解している。 ・正弦定理や余弦定理を用いるために必要な条件を理解し、問題を考察することができる。	①②③
		単元考查 数学 I - 4	○	○			⑤⑥	
第5章 データの分析		1. データの整理		○		・度数分布表やヒストグラムについて理解し、データを度数分布表やヒストグラムで表現することができる。	①②③	
		2. データの代表値	○			・平均値・最頻値・中央値の意味を理解し、それらを求めることができる。	①②③	
		3. データの散らばりと 四分位数	○	○	○	・範囲や四分位範囲の意味を理解し、それらを求めることができる。 ・箱ひげ図を描き、複数のデータの分布を比較することができる。	①②③	
		4. 分散と標準偏差	○			・分散・標準偏差の意味を理解し、それらを求めることができる。	①②③	
		5. 2つの変量の間 の関係	○	○		・共分散・相関係数の意味を理解し、それらを求めることができる。 ・データの散布図を作成し、相関を考察することができる。	①②③	
		6. 仮説検定の考え方		○		・仮説検定の考え方を理解し、問題の結論について判断できる。	①②③	